



日々繊細な技術を磨く 二十歳の成長株

黒田精工株式会社 旭工場

平野 一真さん(20歳)

黒田精工株式会社は、大正14年に設立して以来、幅広い技術を用いた独自のソリューションで、世界のものづくりを支える会社です。旭工場では、転造ボールねじの製造を主業務としています。高精度の製品は、さまざまな精密機械に使用されています。

——入社のきっかけは

小・中学校で技術の授業に関心を持ち、工業高校に進学しました。高校でさらに専門的な知識の理解を深めたことで、ものづくりに興味を持ったからです。

——どんな仕事をしていますか

駆動システム事業部に所属し、転造ボールねじの加工をしています。一度加工すると微調整ができないため、材料

黒田精工株式会社
旭工場

所在地／旭市鎌数10243
電話番号／62-3422

の寸法精度や機械の角度調整に神経を使います。作業を繰り返していると機械が熟を持ち、膨張するため0.01mm以下の単位で微調整をしています。難しい作業ですが、一回でうまくいくと喜びがあります。

加工したねじは、ロボットや半導体製造装置などの、位置決め精度を高める重要な部品として使用されるので、仕事にやりがいを感じます。

——今後の抱負は

年々技術力は上がっていると感じています。今後も一つ一つの作業を丁寧に行い、ミスを減らしていきたいです。

疑問点などは、先輩にすぐ相談するようにしています。後輩ができたときには、先輩にしてもらっているように的確なアドバイスができる人材になって、会社に貢献したいです。



材料をセットする様子



機械での転造加工作業